

高等学校 芸術（音楽）

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ～大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ～大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ～大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I これから放送されるア～オの音楽を聴いて、次の（１）～（２）の問いに答えよ。

（１）ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。

（２）①オの楽曲名を記せ。

②オで使用されている楽器名を記せ。

2 次の問いに答えよ。

- (1) 次の楽譜はTrumpet (in B $\flat$) で演奏する楽譜である。この楽譜をピアノで演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



- (2) 次の楽譜はAlto Saxophone (in E $\flat$) で演奏する楽譜である。この楽譜をピアノで演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



- (3) 次の楽譜はAlto Saxophone (in E $\flat$) で演奏する楽譜である。この楽譜をClarinet (in B $\flat$) で演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



- (4) 次の楽譜はHorn (in F) で演奏する楽譜である。この楽譜をAlto Saxophone (in E $\flat$) で演奏するために、解答用紙の五線譜に調号を用いて記せ。



3 次の(1)～(10)の問いに答えよ。

(1) 次の舞曲の拍子が適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 タランテッラ 8分の6拍子
- 2 ミロンガ 4分の2拍子
- 3 ポロネーズ 4分の3拍子
- 4 エコセーズ 4分の2拍子
- 5 フリアント 8分の6拍子

(2) 以下の弦鳴楽器のうち撥弦楽器を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 カマンチャイ
- 2 サントウール
- 3 サズ
- 4 二胡
- 5 サーランギ

(3) 1970年大阪万博のテーマソング「世界の国からこんにちは」の作曲者と同じ作曲者の作品を1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 太陽がくれた季節
- 2 また逢う日まで
- 3 見上げてごらん夜の星を
- 4 この地球(ほし)の続きを
- 5 遠くへ行きたい

(4) ギターに関する説明について、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 指板を押さえずに鳴らす弦のことを「開放弦」という。
- 2 開放弦の音は、一番太い6弦から「E・A・D・G・B・E」の順に並んでいる。
- 3 一番太い6弦の音が低く、細くなるほど高い音になる。
- 4 指板を押さえて弦を鳴らしたとき、ヘッドに近いほど音が高く、ボディに近いほど音が低くなる。
- 5 ネックにある金属の棒のことを「フレット」という。

(5) 次のオペラ作品について、初演された順に、適切に並べられているものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

5

- 1 「オルフェオとエウリディーチェ」
「フィデリオ」
「さまよえるオランダ人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「蝶々夫人」
- 2 「オルフェオとエウリディーチェ」
「蝶々夫人」
「フィデリオ」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「さまよえるオランダ人」
- 3 「オルフェオとエウリディーチェ」
「フィデリオ」
「さまよえるオランダ人」
「蝶々夫人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
- 4 「フィデリオ」
「オルフェオとエウリディーチェ」
「さまよえるオランダ人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「蝶々夫人」
- 5 「フィデリオ」
「オルフェオとエウリディーチェ」
「さまよえるオランダ人」
「蝶々夫人」
「カヴァレリア・ルスティカーナ」

(6) 楽器の説明として適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。解答番号は

- | | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| 1 | びんざさら | 一端を細かく割った竹と刻みを入れた竹とを摺り合わせて音を出す。 |
| 2 | 篠笛 | 竹製の横笛。強い息音を入れずに、やわらかく吹く。 |
| 3 | こきりこ | 細い竹の棒を 2 本打ち合わせる体鳴楽器。綾竹ともいう。 |
| 4 | 口琴 | 杵を唇に軽く当て、切り出した弁の根元のひもを引いて弁を振動させる。 |
| 5 | 四つ竹 | 竹片 2 枚を持って、指と掌を使って打ち合わせる体鳴楽器。 |

(7) ヨハン・シュトラウス 2 世の説明として、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 ドームマイヤー・カジノの舞踏会で、ワルツ「どうぞごひいきに」やポルカ「心からの楽しみ」など自作の数曲を演奏して、音楽家としてのキャリアをスタートさせた。
- 2 父の楽団と自身の楽団を合併し、華やかなワルツやポルカ、行進曲、カドリーユなどの作曲家として、熱狂的なファンを惹きつけた。
- 3 「美しく青きドナウ」や「酒、女、歌」などのワルツをいくつも生み出した。
- 4 合唱団ジングアカデミーやウィーン楽友協会の音楽監督に就任した。
- 5 舞踏音楽のほかに、16 のオペレッタを作曲した。

(8) 音楽用語とその意味の組合せとして適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

- | | | |
|---|--------------|------------|
| 1 | arioso | 堂々と・壮大に |
| 2 | nobilmente | 上品に |
| 3 | pastorale | 感情的に |
| 4 | con brio | 動きをつけて・速めに |
| 5 | appassionato | 悲しげに |

(9) 次の曲名と作曲家の組み合わせとして、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

	曲名	作曲家
1	赤とんぼ	山田耕筰
2	砂山	團伊玖磨
3	早春賦	中田章
4	朝だ元気で	飯田信夫
5	椰子の実	大中寅二

(10) 竹本義太夫に関する文章として、適切でないものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

- 1 大坂天王寺村の農家に生まれた。
- 2 井上播磨掾の弟子清水理兵衛に入門した。
- 3 大坂道頓堀に竹本座を創設した。
- 4 「曾根崎心中」で大当たりをとった。
- 5 竹本越路太夫が竹本義太夫の名を継いだ。

- 4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術」について、次の（1）～（2）の問いに答えよ。

（1）「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1音楽Ⅰ」について、次のA～Dの問いに答えよ。

A 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ

Ⅰ 目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 自己のイメージをもって（ ア ）ことができるようにする。

(3) （ イ ），生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- 1 ア 創作表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら聴く
イ 音楽の多様性について理解し
- 2 ア 音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴く
イ 音楽の共通性や固有性を捉え
- 3 ア 音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴く
イ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み
- 4 ア 創作表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら聴く
イ 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み
- 5 ア 創作表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら聴く
イ 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりを理解し

B 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

12

第2款 各科目 第1 音楽I

2 内容

A 表現

表現に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な，次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(ア) 反復，変化，対照などの手法を活用して音楽をつくる技能

(イ) (ア) 技能

(ウ) (イ) 技能

- 1 ア 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴を関わらせて音楽をつくる
イ つくった音楽を演奏することができる
- 2 ア 自己のイメージをもって音楽をつくる
イ 音楽を形づくっている要素の働かせ方を試行錯誤しながら，変奏や編曲をする
- 3 ア 音階や音型などの特徴及び構成上の特徴を関わらせて音楽をつくる
イ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，自己のイメージと関わらせて音楽をつくる
- 4 ア 旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする
イ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ，変奏や編曲をする
- 5 ア 音階を選んで旋律をつくったり，つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする
イ 音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きを感受して音楽をつくる

C 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

13

第2款 各科目 第I 音楽I

2 内容

B 鑑賞

鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。

(I) 鑑賞

鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。

(ア) (ア)

(イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値

(ウ) 音楽表現の共通性や固有性

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり

(イ) 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり

(ウ) (イ)

- 1 ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果
- イ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴
- 2 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連
- イ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性
- 3 ア 曲や演奏に対する評価とその根拠
- イ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴
- 4 ア 曲や演奏に対する評価とその根拠
- イ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴
- 5 ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果
- イ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性

D 次を示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを 1 ～ 5 から一つ選べ。

解答番号は

14

第2款 各科目 第1 音楽 I

3 内容の取扱い

(7) 内容の「A 表現」の(3)の指導に当たっては、(ア) とともに、(イ)
ものとする。

- 1 ア 音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る
イ 芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置づける
- 2 ア 自然音や環境音などについても取り扱う
イ 音環境への関心を高めることができるよう工夫する
- 3 ア 音素材及び音を連ねたり重ねたりしたときの響きについて、表したいイメージと関わらせる
イ 作品を記録する方法を工夫させる
- 4 ア 生徒が音や音楽と生活や社会との関わりを実感できるよう指導を工夫する
イ 芸術科音楽の特質に応じた言語活動を適切に位置づける
- 5 ア 即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視する
イ 作品を記録する方法を工夫させる

- (2)「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」について、次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は 15

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (1) 題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、（ ア ）こと。その際、（ イ ），各科目の特質に応じた学習の充実に努めること。

- 1 ア 創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりする
イ 各科目における見方・考え方を働かせ
- 2 ア 文化施設，社会教育施設，地域の文化財等の活用を図ったり，地域の人材の協力を求めたりする
イ 思考，判断し，表現する一連の過程を大切にす
- 3 ア 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする
イ 音楽的な見方・考え方を働かせ
- 4 ア 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにする
イ 各科目における見方・考え方を働かせ
- 5 ア 創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりする
イ 音楽的な見方・考え方を働かせ

